



## 里山に育む生きものたち

### 45 センリョウ (センリョウ目 センリョウ科)

学名 *Sarcandra glabra*(Thunb.)Nakai

文・写真 / 安 昌美

昨年は潤沼の周辺の植物を調べる機会もありましたが、一方で県内も広く歩くようにしてきました。県南地域や鹿行地域で赤い実を着けている野生状のセンリョウに出合うことがあります。正月の縁起のよい植物として年末の花屋さんにも多く並べられます。県内では神栖市の波崎地区で栽培されていることが知られています。今から10年以前は県内の林下ではセンリョウに出合うことはありませんでした。当時、調査不足があったのかどうかはわかりませんが、今は県内でもセンリョウが人に保護されなくても育つようになってきているのです。

#### ▼センリョウとは

センリョウ科の常緑小低木で、センリョウ属に属しています。南方系の植

物で、国内では関東南部以西の本州、四国、九州、琉球の暖地に生育しています。国外では朝鮮半島、台湾、中国、フィリピン、マレーシアなどの東アジアの暖帯から熱帯地方に分布が知られています。千葉県では南部に自生するが少なくとされ、要保護植物に指定されています。また、切花用に栽培されていたものが逸出し、自然環境下で生育しているものがあるとされています。茨城県内では北では高萩市の海岸のスタジイ林下に逸出したものがありました。茨城県ではまだ出合っていないかもしれませんが、注意して探したいと思います。和名はセンリョウ(千両)で、マンリョウ(万両)と合わせるとお金持ちの気分になる名前です。古くから園芸植物になっていたようで、江戸時代初期には「仙蓼」と書かれていたのです。

が、後期には「千両」とされているようです。何か人間臭い字になりました。センリョウ、マンリョウ(ヤブコウジ科)、さらにアリドオシ(アカネ科、一両とする)が揃うといつもお金があるという縁起物になります。百両はカラタチバナ(ヤブコウジ科)、十両はヤブコウジ(ヤブコウジ科)と役者は揃っています。センリョウの花言葉はこれまた縁起よく、「裕福」「財産」「恵まれた才能」などです。

#### ▼センリョウの生活

暖地の林下に生え、一年を通して薄日のあたる所を好み、直射日光は嫌います。赤い果実が目立つ植物ですが、六〜八月に咲く花には花弁などはなく、雌しべと雄しべのみです。果実は十月ごろから赤く熟し、翌年の二月ごろまで見られます。写真は牛久市のスギ林下で十二月に撮影したものです。繁殖は種子ですが、挿し木でも増やせるそうです。

#### ▼センリョウの仲間

県内ではセンリョウ科にヒトリシズカとフタリシズカがあります。こちらは草ですが、名前からして親しみのある種類です。センリョウ科は被子植物に含まれていますが、センリョウ属には維管束の基部には道管がなく、裸子植物に見られる仮道管があるのです。このことからセンリョウ科は被子植物のなかでも原始的な群とされています。

編集・発行 / 茨城町総務企画部まちづくり推進課

〒311-3192 茨城県東茨城郡茨城町小堤1080 TEL 029-292-1111 FAX 029-292-6748

ホームページアドレス <http://www.town.ibaraki.lg.jp/> メールアドレス [ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp](mailto:ibarakit@town.ibaraki.ibaraki.jp)

DATA

茨城町の人口と世帯数 ※カッコ内は前月比です。(住民基本台帳 平成27年11月末現在)

◆総人口 33,596人(-11)、男 16,768人(-10)、女 16,828人(-1) ◆世帯数 12,712世帯(+6)

DATA

再生紙を使用しています



環境に優しい大豆インクを使用しています